



神戸ハーバーランドまちづくりフォーラム

安藤忠雄が語る

《世界都市・神戸をつくる》

世界を舞台に活躍する安藤忠雄氏。

7月26日に神戸ハーバーランドスペースシアターにておこなわれた講演会には、あふれんばかりの聴衆が駆けつけ、神戸のまちづくりの未来を明るく照らす言葉に耳を傾けた。

こんな街中のそれもイベントホールで講演するとは、神戸市は面白いことを考えますね(笑)。今年の10月から神戸がビエンナーレをおこないます。このビエンナーレというのは世界中でおこなわれている2年に1回開かれるアートや建築のイベントです。その中でもベニス有名な、もう100年以上前から続いています。まちづくりに古い建物を生かしていて、17世紀の建物を改装し、新しい感性で現代的に変え活用しています。そこでは現代アートに触れ新しいものを発想する素晴らしい機会を与えてくれますが、神戸でもそのようなのをまちの中に組み入れたらいいのではないかと思います。

神戸のほかにも、かつて四国への連絡船が出ていた宇野港の近くにある直島でも、その周辺環境も取り込んで、高松、直島、坂出をネットワークした瀬戸内ビエンナーレの構想があります。ドバイで知られるUAEという国の首都・アブダビでは、4つの埋立地に4つのミュージアムを建築する計画があり、4人の建築家がそれぞれ担当することになりました。そのひとつ、海洋博物館を私が担当しています。3年後に着工、5年後には完成しますが、それを機にビエンナーレをしようとしています。この他にも上海や韓国などあちこちの国で、芸術祭としてのビエンナーレが行われ、芸術を通して世界中の人に来ても

らおうという試みがなされています。

神戸は、北野町あたりをもう少し改善する必要があります。現状では人は来るけれどあまりお金を落とさない、すぐに引き返してしまう。私は1970年代に入ってから、北野町の異人館を保存する運動をしていました。また同じ頃、北野のロイズガーデンの設計をしていましたけれど、街の雰囲気や異人館のような建物を残し、新しい建物も異人館に即したような建築にして、街そのものを再生していくことができないかということを考えました。運動は一応の成果をあげましたが、現在ではお店ばかりが増えすぎているのが少し問題なのではないかと思



熱弁を繰り広げる安藤忠雄氏(プロフィールは52ページ)

うのです。ヨーロッパの建物を日本的な感覚で作りに上げた異人館のような建物は、他には長崎に少しある程度ですが、これらをもっとうまく利用してまちづくりを活かせないかと考えています。人を呼ぶために何ができるかということ、北野町の人たちとともに考えていきたいと思っています。街は、そこに住む人々の人生に大きな影響を与えるのです。

ここところ元気がない日本人ですが実は、世界中から羨ましがられていることがあります。それは、長寿です。だいたい女性の方が元気で長生きですが、それはなぜかというと、好奇心旺盛だからなのです。長生きの秘訣は、私は好奇心だと思つたのです。

そのために遊びに行ける場所、好奇心を受けとめる場所を作つておかなければいけない。日本は世界一の長寿国でありそれに関しては大変素晴らしいのではないかと思います。

明石海峡大橋渡つて

すぐのところに淡路夢舞台があります。この敷地はもともと、関西空港の埋立用に甲子園球場の約190杯分の土砂を採取した跡地でした。ゴルフ場をつくりたいというアイデアがありました。当時の貝原知事が次の時代の子どものために自然とともに遊べるような場所にしなければと、国際会議場と植物園をつくらうということを考えられました。このような大胆なことを言い出したのが兵庫県らしい。六甲山も100年前は全く緑がなかったのですが、兵庫県民は治山治水も含めてみんなで森にしていこうということで植林したのです。人間が自然を破壊することもできる。けれども、森をつくりなおすこともできるのです。

震災復興の一環で立ち上げた緑化活動基金、ひょうごグリーンネットワークでは、12万5千という震災復興住宅の数の倍、25万本を目標に白い花の咲く木を植え、最終的に30万5千本の植樹を達成しました。また、瀬戸内海の島の緑を回復させるために、募金で百万本を目標に

植林する「瀬戸内オリーブ基金」の活動を中坊公平氏と共に呼びかけています。自分たちの自然環境を守ることによって、美しい日本の国をより美しくすることができのです。植えた樹木がすくすくと育っていく姿に新しい力を感じることができると思います。

神戸は日本の都市の中で一番美しい街だと思っています。それをもっともとレベルアップしていくためには、街の人たちが皆で力をあわせていくことが肝心です。そうすれば、神戸は訪れる人々の好奇心を受けとめることができる、より魅力的な街に発展していくでしょう。この「美しい神戸」の実現は街の人たちだけでなく、街を歩く人たちにもかかっています。お互いに心の通う中でまちづくりをした方がいいですね。市民一人一人が、まちづくりは自分達の手で進めるものだという意識を持つべきだと思います。



会場は静かな熱気に包まれた



私たちの聖地

Sanctuary KOF Harbor Land

安藤忠雄氏

「まちづくりを神戸から」

対談

瀬戸本淳氏

安藤忠雄氏は講演のあと、神戸を代表する建築家、瀬戸本淳氏と語り合った。話題は昔話から未来まで、神戸から世界へと。

C n e s t o

瀬戸本 安藤さんと最初に出会ったのは40年くらい前、神戸大学の水谷顕介先生の研究室だったと思います。私は学生だったのですが、神戸の街の調査のアルバイトをしていました。青谷あたりの家をまわり一軒一軒のプランを描き、先生のところに持っていくのですけれど、後日、それが安藤さんの作品に役立っていったのかどうか聞き取ったのですが。

安藤 私は水谷先生の研究室で働いておりました。主に神戸の調査や、ニュータウンのマスタープランの設計をしていました。当時の懐かしさがあります。その一つの成果が、西神・北神のニュータウンだと思います。湊川

の市街地再開発にも関わり、皆が苦労しているのを見て再開発の難しさを認識させられました。今にして思えば、あの時の経験が表参道ヒルズの計画などに影響を与えているのかもしれないですね。ちょうどその頃から、北野や居留地など、神戸の美しい街並に着目し、この魅力的なところをなんとか保存できないかと考えはじめました。そこで神戸芸術工科大学教授の坂本勝比古さんと保存を訴えかけたのですが、あちこちから「あんなもののどこがいいのか」と言われ、あんまり相手にしてもらえませんでしたね。しかし、みんなの頑張りで残すことができたと思っています。

瀬戸本 安藤さんがその後独立されて、小さなアトリエを開かれたときに、安藤さんと渡辺豊和さんと亡くなられた宮脇檀さんの三人が話しているのを聞きまして、何か変なことじゃって思ったのですよ。「建築家は顔が大事や！」と（笑）。ま、それは余談として、調査の時に気が付いたのですけれど、青谷には外国の人が多く住んでいて、私の知人の中国人も住んでいましたし、そういう面があるのでですね。いま中央区だけで人口約12万人ですが、88カ国1万2千人の外国人が住んでいるのです。宗教もいろいろですが仲良く暮らしています。いま、世界中で、クリエイティブな人は安住できる場所を探しているようです。それには条件があります。それなりの生活レベルがあること。ウォーターフロントがあること。バックにカントリーヤード、田舎があるかということ。それから、自分の生活を楽しむことができるか、さつき安藤さんが話されていた好奇心を受けとめる場所があるかということです。そして、一番重要なのが

テロがないこと。神戸にはその条件が揃っています。私のまわりにも外国人の方が増えたような感じがあります。さて、神戸大使の安藤さんはご存じだと思いますけれど、スーパーコンピュータが神戸に来ます。それによりシミュレーション科学の拠点になり、医療産業都市とあわせてバイオベンチャーの街になることでしょう。安藤さんは

「地球は永遠だと思われるのが一番の問題」、「環境は日本が発信できる大きなテーマ」「人間は自然の中に存在するということを確認できる場をつくることが大事だ」と言っておられますが、この前、住明正さんという地球環境研究をされている方の話なのですけれど、スーパーコンピュータを使った細かいシミュレーションで、自分たちの生活が、未来にどんな可能性があるか具体的に予測できるそうです。安藤さんは電信柱を抜いてそこに木を植えようというお話をされています

たよね。2号線なんかそうなっていますけれど、電信柱の代わりに大きな木が植わると、ものすごくきれいな場所になりますよね。

安藤 そのためには地中に共同溝を設けなければいけません。東京では石原慎太郎さんががんばっていますが、10年以内にとこの計画で、中心部は5年以内に完成させると張り切っています。さて、地球は永遠だと思いでいらつしやる方も多いと思いますけれど、だいたい地球の人口は50億が限界だと言われているのです。いま66億人です。とりわけアジアが増えていて、この人たちが西洋人と同じような生活をしたときに、食料問題や環境破壊がより一層深刻になっていくでしょう。その一方で日本人は自然とともに生きてきた感性の高い民族です。江戸時代から文楽であつたり歌舞伎であつたり、大衆が文化に親しんだ国は世界には類がありません。そういう感性はどこから来たかという、変化に富んだ四季が育んだと思うのです。小泉八雲をはじめ世界中の多くの人たちが

が日本人の感性の良さを認めています。しかし、今の若い人にはそれがずいぶんとなくなっていますね。ですから、今生きている人たちの世代でせめて少しでも回復させることができないのかなと試みています。例えば環境のために千円を募金して、自然環境と少し関わっているという意識のなかで、育んでいくのではないかと思えます。兵庫県は震災を経験しましたが、非常にスピーディーに復興しました。これは、世界の災害の歴史の中では特筆すべきことなのです。神戸の人たちには「自分たちの街が好きだ」「ここで住み続けたい」という気持ちが強くなり、暴動もおきなかったのです。自分たちの街を愛しているという点ではすごい。これも復興に際してひとつの大きな力となりました。行政と市民が一体となって復興に取り組んできた。これをもう一ランクアップして、神戸ならではのまちづくりをしてもらいたいですね。いま、自然がどんどん破壊されている中で、せめて我々生きている間にできることは何か考え



恋 人 たちの聖地

ると、自然環境に対する意識の補強ぐらいでしよう。

瀬戸本 先ほど石原慎太郎さんのお話が出てきましたけれど、実は神戸出身なんですよ。

安藤 どうかなあ…(苦笑)。

瀬戸本 東京の校庭の芝生化が進んでいるのですけれど、その一番最初は杉並の和泉小学校でして、その野崎佳子校長は実は私の後輩で、彼女は神戸がオール芝生化するという計画を聞きまして、私のところもとがねばって職員会議や保護者に賛成を得て実行に移



profile

安藤 忠雄 (あんどう ただお)

1941年大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年安藤忠雄建築研究所設立。環境との関わりの中で新しい建築のあり方を提案し続けている。代表作に「光の教会」「大阪府立近つ飛鳥博物館」「淡路夢舞台」など。1979年「住吉の長屋」で日本建築学会賞、93年日本芸術院賞、95年プリツカー賞、2003年文化功労者、05年国際建築家連合(UlA)ゴールドメダルなど受賞多数。1991年ニューヨーク近代美術館、93年パリのボンビドー・センターにて個展開催。イェール、コンビア、ハーバード大学の客員教授歴任、1997年から東京大学教授。現在名誉教授。

したのですが、困ったことにメンテナンスに年間約2300万円くらいかかると計算がましました。これを保護者、子どもたち、先生、みんな含めてメンテナンスしようということになり、幸い関係者に専門家がいたのでうまくいったようです。それで今、都知事もオール芝生化を10年以内にしようと言言されています。そういうことも元は神戸から出ているということもみなさんに知っていただきたい、そして神戸ももっと芝生化をしてほしいですね。

安藤 東京は小学校の校庭を全部芝生にするということです。難しい問題もあるでしょうけれど、子どもが元氣よく走り出す姿と、オリンピック目指して走り出す東京の姿勢とを石原さんは重ねて見ているのでしょうか。

かね。全小学校を芝生化し、電柱を地下化して街路樹を植樹すると、熱帯夜がだいたい1割5分くらい減るらしいです。こういうことにおいて、神戸は全国の中でもリ

ダーになれるのではないかなと思います。

瀬戸本 安藤さんも関わっていらっしゃる東京ミッドタウンの21/21 DESIGN SIGHTもきれいな芝生ですが、あそこはなんで21/21なのですか。

安藤 詳しい由来は解りませんが、三宅一生さんが21/21と名前を付けました。日本から世界へ向けて、建築や工芸、グラフィックなど、さまざまな分野でデザインを発信しようという場です。500万円を毎年支払ってくれるスポンサーが40社あり、それで運営しています。世界へ向けて、ひとつの基地になっていると思います。まちづくりにもやはり基地が必要ですね。

瀬戸本 30人の作家による70の作品で、チョコレイトをテーマにした企画展をおこなっていましたが、中庭に展示してあったチョコレイトに蝶々が止まっていたびっくりしました。自然を感じることができました。神戸にもそのような情報を発信するデザインサイトができたらいいなと思います。今は第三次、第四次ジャポニズムと言われて



profile

瀬戸本 淳(せともと じゅん)

1947年神戸生まれ。APECアーキテクト・日本建築協会登録建築家・一級建築士。神戸高校、神戸大学建築学科卒業後、1977年に瀬戸本淳建築研究室を開設。以来住まいを中心に、世良美術館、月光園湖庭館などさまざまな建築を手がけている。兵庫県建築設計監理協会会長、兵庫県建築士会副会長、神戸市建築文化賞、兵庫県さわやか街づくり賞、平成18年度神戸市文化活動功労賞などを受賞。

そういったことをテーマにしてビエンナーレを成功させようと盛り上げているところです。そう言えばベニスでも安藤さんとお会いしましたね。ベニスのビエンナーレではどんな特徴的なところがありますか。

安藤 ビエンナーレは2年に1回、100年以

上もやってきたわけですが、上海もアブダビもそうだと思いますが「みんなで芸術を楽しもう」というイベントです。楽しむた

めには芸術だけでなく街が楽しみを受け入れてくれなければならぬと思います。その意味では神戸はビエンナーレにふさわしい。しかし、世界中のビエンナーレを見に行った人が「神戸のビエンナーレは子どもの遊び場ではないか」と思うか「さすが神戸」と思うか、そこが勝負ですよね。東京も美術館が建ち並ぶ六本木界隈でビエンナーレをしようという動きもあります。ともあれ、小さくても好奇心を持てるものをつくらなければいけないと思います。30年50

年はおかかるかもしれないけれど、でも今しないとずっと何もしないままで終わります。ところで、神戸で大切にしてほしいと思うのが、居留地の建物です。ロックフィールドの岩田社長は2号線の道路を地下化して居留地から海までまっすぐ行けるようにしたらいいなとおっしゃっていました。私もそう思います。接近しているけれども、結局はなかなか行けないのですね。

瀬戸本 居留地の南側の水上警察の建物が移動し、広場ができて海が見えるようになります。見えるだけでなく何か惹きつけていかなければいけないと思いますけれど、日々市民が訴えていることを行政の方もうまく実現させていると思います。

安藤 そしてもう一つ、街が発展しないと仕事ができないのです。街が安定して仕事がある街になれば、また発展につながっていくでしょう。行政は方向を示すことはできるけれど、実際に景気を良くするのは市民の力です。そのあたりを考えると、まちづくりというのは面白いものだなと思いますね。

ことがすばらしいのです。「混ざる」ことに一番抵抗がないところは神戸ではないか、そして混じり合う文化という意味で一番日本的なのは神戸ではないかと思うのです。ですからとにかく神戸が元気になるしないと、日本が、世界が元気になるない。



恋 たちの聖地

各団体の取り組み

安藤忠雄氏の講演に先立ち、「花とみどりの回廊」まちづくりに参加している各団体の代表者と行政の代表者、安藤忠雄氏がテーブルを囲む懇談会が開催された。

草花で街を華やかに

第11回「花とみどりの回廊」まちづくり懇談会



街を飾る「花あかり」

昨年、「のじぎく兵庫国体」を盛り上げるため街を花で飾る活動が積極的におこなわれ、ビニールバッグ状のハンギングプランター「花あかり」を各地域で装飾した。各地域からその「花あかり」についての経過や、各地域独自の取り組みなどについて順次報告がおこなわれた。

北野・山本地区では、「花あかり」は観光客にも好評で、現在も北野坂では花を選んで飾っており、今後も継続していきたいというレポートが。トアロード地区では街全体で飾花への関心が高く、「風の庭」や山手幹線沿いのハンギング装飾など積極的な取り組みが。三宮阪急前

商店街では花に対する関心が高まり生田筋との交差点に花壇を

設置、専門業者に依頼し常に花が絶えないようにメンテナンス。

三宮センター街では「街に花を」をキーワードに、ただ単に花を

植えるだけでなくストリートミュージアムプランを展開。期限切れポスターや違法看板の迅速な撤去にも力を入れている。鯉川山手では「花あかり」が地域の意識を高め、「花が枯れると

街が枯れる」と手入れを強化している。三宮あじさい通りでは

次々と花が咲いて長持ちしたと「花あかり」が好評。市民花壇

設置を駐輪場整備と並行して検討している。みなと元町地域では、飾花や清掃、駐輪警告など

の地道な活動が結びつき、ゆったりと散歩を楽しむ雰囲気が出てきたという報告が。「花あかり」が好評という旧居留地では、プランターによる飾花を積極的に展開。三ノ宮南では磯上公園を飾るなど「花あかり」の大々的な活用や、桜苗の植樹など独自の試みも。ハーバーランドではエリア内の施設や団体と共同で花壇の管理がおこなわれ、熱心に世話をしている。

活力のあるまちづくりへ

一方で、花苗の調達、メンテナンスの費用や人手の捻出、企業の参加促進、市民サポートのよびかけなどに課題が呈され、市の協力が不可欠という意見も。それに対し石井陽一副市長は、職員を現地へ派遣して話し合いをおこない「場所に応じた取り組みを検討したい」と応答した。安藤氏は東京一局集中化の潮流でまちづくりは難しい局面を迎えているとしながら、これからは観光を中心とする時代がやってくる中で、花を植える運動を地道にやっていくことは大切であると神戸方式を評価。一方



安藤忠雄氏

でネットワークの欠如を指摘し、地域間、そして他都市とのネットワークの重要性を唱えた。また、「自分たちの街を守ることには、自分たちの力でやらないといけない。『何とかなる』でできってしまうのはダメ」と述べ、「京都・名古屋・東京は元氣。それに比べて神戸は相当がんばらないといけない」とさらなる奮起を促した。

花とみどりの回廊づくりを通して、街の景観向上やコミュニティ意識の醸成などさまざまな結果がみられるようになってきている。これをいかに「街の活力」に結びつけるか。それが神戸の活性化の鍵を握っている。



北野・山本地区を
まもり、そだてる会
会長 浅木隆子さん



トアロード地区
まちづくり協議会
会長 上根保さん



三宮阪急前商店街
振興組合
理事長 久野茂樹さん



三宮センター街2丁目
商店街振興組合
理事長 久利計一さん



鯉川山手づくり会
副会長 天野浩明さん



三宮あじさい通り商店街
振興会
会長 瀬川敬之輔さん



みなと元町タウン
協議会会長
元町商店街連合会会長
奈良山喬一さん



旧居留地連絡協議会
会長 野澤太郎さん



三ノ宮南まちづくり協議会
副会長 横山政夫さん



株式会社神戸ハーバーランド
情報センター
代表取締役社長 松下純宏さん

Basel & Geneve
2007

kamine
SINCE 1906 KOBE



三宮・元町にある時計宝飾専門店カミネが、今夏神戸旧居留地にあるザ・チャータードスクエア（旧チャータード銀行）にて、2007バーゼル&ジュネーブ新作発表会を開催。

毎年、3月から4月の時期にスイスで行われる世界一の時計の新作発表会が、「バーゼルワールド」と「ジュネーブサロン」。その世界最高峰のラグジュアリー感と、会場の熱気に包まれた様子が映像と写真で紹介された。会場には雑誌社や各ブランドのCEOなど約120名が招聘され、2007バーゼル&ジュネーブの見所や今年の流行について感想を語った。

大正時代にアメリカの有名建築家J.H.モーガンに建てられた旧チャータード銀行。神戸が誇る歴史的建築物を会場に、来場者も最新の高級時計を心行くまで堪能した。



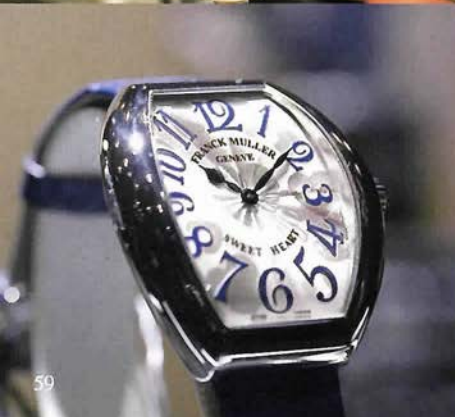
左から、カミネ代表取締役社長の上根亨氏、「時計ビギン」編集長の樋田博之氏、オーディビゲ ジャパンCEO森野繁氏によるトークショーが行われた。



プロカメラマンによる
写真展も同時開催



マジックショー



フランク・ミュラー最新作



ロジェ・デュブイ最新作

神戸のお嬢さん

現代っ子ですが
とても頑張り屋さん

高倉 麻美さん

(会社員)



美人で、明るく、現代的な女性である麻美さん。
でも、とても芯の強い方です。

通信会社につとめるかたわら、趣味はゴルフ。愛車に乗ってドライブも大好きとか。また、彼女は、小学生のときに、お父さんのお仕事の都合で2年間中国にいたため、北京語が達者であるという一面ももっています。

親御さん思いの、がんばり屋さんの麻美さんに出会うと、こちらまでパワーをいただいた気がします。



推薦者 鶴殿征二郎
松道家
代表取締役

神戸のお嬢さん

夢に向かって

羽ばたこうとしています

此下 なつ実さん

(関西学院大学4年生)

小さいころからクラシック・バレエを習い、かわいらしかったなつ実ちゃんが、今回久しぶりに我が家を訪れました。すっかりおしゃれで美しい女性に成長していました。

現在は関西学院大学に在学中ですが、卒業後は保険会社に就職が決まっています。将来は、お仕事をしながら、家庭を大事にする女性になりたいという夢をもっているそうです。大おばである私も、応援しています。



推薦者 榎本靖子
株式会社アンヌーヴォ
代表取締役

榎本邸にて



高田幸治

瀬中央地区まちづくり協議会専務理事

KOBECCO

2007

Koji Takata

まちを支える 太い幹

震災で瓦礫と化した神戸に、まちづくりの種が落とされた。校区ごと地域の人々により育てられ、復興と咲きコミュニティが実った。そのほとんどが一定の役割を終えた現在でも、確実に根を下ろしている地域組織が灘にある。

水道筋商店街やその周辺の地域団体の19団体からなる瀬中央地区まちづくり協議会。その実務を担う高田さんは、被災道路の整備や商店街復興などのハードからソフトへまちづくりが移行している昨今、経験とアイデアで地域を飽

きさせない。パソコン教室や健康相談など地元の要望を的確に捉えた企画は、「コミュニティ」という物言いより深い次元での灘の人たちとの繋がりが生まれた。

関西学院大学では「実践的まちづくり」の片寄教授の薫陶を。その後神戸市のCPU事業に応募、灘で地縁組織系NPOでさらなる実践を重ね、現在に至る。

夢を訊ねると意外な答えが。「水道筋あたりでお店を持ちたいですね」。幹から根へ。実践者のま

ちへの愛は、深い。





KOBECCO

2007

Yasuko Kimura

鮮やかでありたい

木村泰子

「有限会社 鮮デザイン」代表／「画空スタジオ」共同設立
esora@aza-d.com

原色を生かした鮮やかな色調。「有限会社 鮮デザイン」代表を務める木村泰子さんが作成する作品には、「鮮やかに心に残る」デザインが躍動する。

父は神戸市西区で鉄工所を経営する。反抗期の高校時代、鉄粉と汗にまみれて、自分たちのために働く父の姿に胸を打たれた。「美しさとは外見だけのものではない。生きることを鮮明に伝えること」。

元憂歌団ボーカル・木村充揮さんのデビュー30周年イベントでは、CDや記念パンフレットなどで、人間的な愛らしさの中に原色のグ

ラフィックを踊らせた。

10代の多感な時期を神戸で過ごした。「神戸は、様々な国・趣向のお店がいっぱいつまっていって松花堂弁当みたい」。木村さんの原点は神戸にあると言う。

2006年に立ち上げた「画空（えそら）スタジオ」では、グラフィックと映像を融合させ、動画のデザインも手がける。「デザインにもジャンルや枠はありません。一つのテーマや素材からどれだけ鮮烈なメッセージを伝えていけるか」。木村さんの作品は枠がなく、無限である。

兵庫県立美術館

「芸術の館」

新時代のなぎさの街、H
AT神戸にそびえる兵庫
県立美術館。この地で5
年目を迎えた「芸術の館」
は、小磯良平、金山平三と
いった地元の芸術家はも
ちろん、彫刻、版画、現代
美術なども評価の高いコ
レクションを誇ります。約
七千点収蔵と、質量とも
に見ごたえのある「美の殿
堂」です。

興味深い特別展や、充
実したコレクション展を鑑
賞するだけでなく、楽し
み方はいろいろです。館内の
レストラン「ラビエルミゼ」
では、小粋な空間で味覚の
芸術鑑賞を。テラスを望
むカフェ「フォルテシモ」は、
ゆったりと時間が流れてい
ます。おみやげはミュージ
アムショップでちよつぱりア
ートなグッズはいかが？

建物の探検
も人気です。
海と空の青が
迫ってくるよう
な「海のデッキ」
や、光が戯れる
回廊など、建
築家・安藤忠
雄氏の意匠が
随所にうかが
えます。

イベントも盛
りだくさん。ワ
ークショップは
もちろん、ミュ
ージアムコンサ
ートや名画サロ



近未来を思わせる安藤忠雄氏の設計



随所に何気なくオブジェなどの作品が

ンなど多彩な企画で、
芸術活動の総合的
な拠点としての役割
を果たしています。
「美術館は敷居が
高くて…」という方
でも、気軽に訪ねる
ことができるとうて
おきのアートのスポ
ット。
特別展会期中の金
曜日と土曜日は夜
間開館も実施してい
ます。涼しい潮風に
誘われて、海辺の散
策がてらにどうぞご
来館を。



クロード・モネ《睡蓮》
1907年 油彩 カンヴァス
92.5×73.5cm



会場は6部構成に



展示は時系列で並んでいる

見どころ!! check!!

現在開催中の特別展「巨匠と出会う名画展」が好評です。質の高さで国内外から高い評価を受けている川村記念美術館のコレクションが、同美術館の大規模改装工事のための休館によりやってきました。当コレクションの公開は、関西では最初で最後の機会となっています。

まるで美術史のページをめくるように珠玉の作品を楽しめます。17世紀レンブラントからはじまり、印象派、エコール・ド・パリとモダンアートの幕開けへと展開。ダダ、シュルレアリスムなど前衛の時代を経て抽象美術の黄金期、ポップアートへと。最後は日本絵画の名作が飾ります。時代を超えて人々を魅了する巨匠の作品、本物だけが持つオーラを感じてください。

兵庫県立美術館「芸術の館」

神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

☎078-262-0901

<http://www.artm.pref.hyogo.jp/>

【開館時間】10時～18時(入館は17時30分まで)

※特別展会期中の金曜日と土曜日は

10時～20時(入館は19時30分まで)

【休館日】月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日の火曜日)

12月31日、1月1日

【アクセス】阪神岩屋駅下車、徒歩約8分、JR灘駅下車、徒歩約10分

【観覧料】◎コレクション展

大人500円 高校・大学生 400円

小・中学生 250円

◎巨匠と出会う名画展

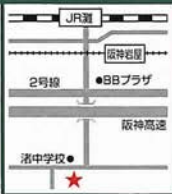
大人1200(1000)円 高校・大学生 900(700)円

小・中学生500(300)円

※()内は前売料金

※県内在住・在学の小・中学生はココロカード提示により無料

※高齢者(県内在住・65歳以上)は当日料金の半額



特別展

—川村記念美術館所蔵—

巨匠と出会う名画展

開催中～10月8日(月・祝)

モネ、ルノワール、ピカソ、シャガール、マレーヴィッチ、ミロ、マグリット、ポロック、カルダー、ウォーホル、ステラ、さらに光琳、大観と、美術史の王道を飾る大御所の名作が一堂に会する必見の展覧会。画集や教科書で見たあの名作と出会えるまたとない機会です。(光琳、大観の作品は9/14以降展示)